



地域医療連携室通信

2011 (H23) 11月号 (第61号)

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

TEL・FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠



DMAT (災害派遣医療チーム)

外科部長 城野英利

“DMAT”をご存知ですか？私も今回の隊員研修を受ける前までは、名称を聞いたことがあるくらいでした。

9月末、私を含め当院スタッフ5名でチームを編成し、東京都立川市国立病院機構災害医療センターにおいて4日間のDMAT隊員研修を受けてきました。無事、試験にも合格し、熊本県下で14チーム目、天草で2チーム目(平成22年10月に健康保険天草中央総合病院のチームが資格取得されています)のDMATチームとして資格を取得することができました。研修内容のすべてをこの場で報告することは、紙面の都合もありますので、DMATについての紹介を行いたいと思います。

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとってDMAT(ディーマツト)と呼ばれています。医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

1995年1月17日、マグニチュード7.2、戦後最大級の都市直下型地震である「阪神・淡路大震災」が起きました。(被災家屋:512,882棟、死者・行方不明者6,425名 負傷者43,772名)犠牲者のうち約8割が圧死であった中、意識清明であった被災者が救出とともに急変し、心停止に至ったクラッシュ症候群など、適切な初期医療が受けられぬまま命を落とした例も少なくはありませんでした。平時の救急医療レベルの医療が提供されていれば、救命できたと考えられる「避けられた災害死」がおおよそ500名存在した可能性があったと後に報告されています。この大震災で災害医療について多くの課題が浮き彫りとなり、この教訓を生かし、各行政機関、消防、警察、自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになりました。**“一人でも多くの命を助けよう”**と厚生労働省により、災害医療派遣チーム“日本DMAT”が平成17年4月に発足しました。

現在では、現場の医療(いわゆる“がれきの下の医療”)だけでなく、被災地の病院機能を維持・拡充するための病院支

援や、首都直下型、東海地震など想定される大地震で多数の重症患者が発生した際に被災地の外に搬送する、広域医療搬送など、機動性、専門性を生かした多岐にわたる医療的支援を行います。今年3月の東日本大震災においても多数のDMATチームが活動しました。3月11日～22日までの間に、47都道府県から約340チーム、約1500人が岩手県など4県に派遣され、活動を行いました。(以下に東京医科歯科大学のDMATチームのブログの一部を紹介させていただきます。)『12日の午前4時(発災約12時間後)に宮城県仙台市に到着し、県の最大の災害拠点病院である仙台医療センターにて、病院支援を行った。病院は地震による建物被害は軽度であったが、市内の広範な停電のため電気・水が使えず、集中治療室や一部の病棟がかろうじて自家発電で運営されていた。12日朝7時の時点で、仙台医療センターに集合したDMATは25チーム、約130名であった。13日夜までには52チーム(合計77チーム、約390名)に達した。病院機能としては、自家発電のみの電力供給のため、CTスキャンは使用出来ず、単純レントゲン写真と緊急血液検査など、一部の医療機器のみの稼働であった。病院のスタッフは大多数が参集しており、発災直後から不眠不休で勤務していた。DMATのER支援チームはそれぞれ、病院入口でのトリアージポスト、重症患者を治療する赤エリア、中等症患者を治療する黄色エリア、軽症患者を治療する緑エリア、広域搬送患者をケアするチームに分かれて活動した。……』

もし、天草や熊本で大規模災害が起こったら、、、、、、全国のDMATがすぐに駆けつけてくれるはずですよ。



当院DMATメンバー



平成23年10月1日ホテル熊本テルサにて第17回熊本県国保地域医療学会が開催されました。開

会後、昨年の第16回熊本県国保学会の表彰が行われ最優秀者は当院鶴浜香助産師が受賞しました。今回は当院から看護に関するものに看護師1名、入院サービス・臨床・薬剤・職員の資質向上に関するものに事務1名、連携に関するものに医師1名、保健師1名が発表者として参加しました。四題とも目の前にある問題を分析、明確化して課題として必死に取り組んでいる様子を感じることができる発表ばかりでした。質疑応答も盛んに行われ、内容がより詳しく伝わったのではないかと感じました。当院から約50名程の職員が参加しましたが、発表者はもちろん参加者が全29の演題という昨年より多い演題のなか各部門とも大変興味深く充実した内容でした。最後に、山形県小国町立病院長の阿部吉弘先生による「これからの地域医療～住み慣れた地域で暮らすために～」についての特別講演がありました。被災地医療支援の状況や地域医療に今求められる

ことなど連携の重要性などを再確認できる貴重な講演内容でした。来年全国国保地域医療学会は熊本県で行われます。発表者の皆様、大変お疲れ様でした。

○当院からの発表内容○



「内服管理選択フローチャートの改訂」

看護師 小浦満寿生

「外来待ち時間満足度の年次比較
～アンケートの結果より～」

医事課 平岡啓司



「わたしたちの想いを強くしたのはなにであったか」

副院長 坂本興美

「当院健康管理センターと行政との連携の現状と今後の課題について」

保健師 松江文賀



ねんりんピック救助班参加報告

主任看護師 岩本 雅代

健康と福祉の祭典「ねんりんピック2011（ふれ愛）熊本」が開催されました。10月15日（土）にKKウィングでの開会式後、それぞれの開催地に移動。翌日、卓球、テニス、ソフトボール、ゲートボール、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、サッカー、ボーリングなどがあり、当上天草市ではダンススポーツ交流大会が行われました。

ダンススポーツは、男女1組となりルンバ、チャチャチャ、タンゴなど音楽に合わせて踊ります。大矢野総合体育館には、全国から28チーム、約400名の選手が集まりました。年齢は、60歳からで、83歳までの紳士、淑女が競い合いました。タキシード姿の男性にリード

されきれいなドレスに身を包んだ女性たちで、別世界のような様子でした。

私たちは、院長先生をはじめ、4人で救護班として参加させていただきました。ちょっとだけのお手伝いでしたが、パワーをもらった1日でした。



平成23年10月6日木曜日 14:00～ 今年も、例年通り「救急蘇生模擬訓練」を実施しました。今年の役者は、患者役：救急蘇生モデル君、家族役：Dr坂本・Dr福田、駆けつける医師役：Dr城野です。毎年恒例の事ながら、各部署が緊張の面持ちで待っていることは確かです。

その結果、どの部署も標準～上々の出来でした。

1. 胸骨圧迫は上手にできていました。しかし、1人で長時間の胸骨圧迫は大変です。人集めができたなら、2分間おきに交代されると、効率よくできたのではないかと思います。また、部署によっては、胸骨圧迫の中断が見られ、中断する時間を最小限にしたいものです。
2. 人集めがなかなかうまくいかない部署もありました。

3. 患者家族への声掛けを、シミュレーションしていた部署では、上手にできていましたが、他の部署では、患者家族までに配慮が行き届かなかったようです。

いつ、どのような場所で蘇生が必要になっても、冷静に対応できるように、今一度、確認や、訓練を各部署で行っておきましょう。



お知らせ

研修会・勉強会・行事予定表

11月 2日 (水)	ヒューバー針勉強会	17:30～ 当院6階講堂
11月 3日 (木)	文化祭	9:30～ 龍ヶ岳体育館
11月 8日 (火)	マザークラス(妊娠の経過と分娩の流れ)	13:30～ 当院6階講堂
11月 9日 (水)	院内感染対策委員会勉強会 「耐性菌、ガイドラインの改定等について」 大日本住友製薬	17:30～ 当院6階講堂
11月11日 (金)	看護助手勉強会(病院の機能と当院の役割) 心臓リハビリテーション教室 ○狭心症と心筋梗塞について ○運動療法について	12:30～ 当院2階会議室 17:30～ 当院6階講堂
11月18日 (金)	看護師勉強会(研究発表) 糖尿病教室 ○食事栄養指導：脂・脂質の話 ○糖尿病の医療費について ○糖尿病と虫歯・歯周病の話 DMAT報告会	12:30～ 当院6階講堂 13:15～ 当院6階講堂 17:30～ 当院6階講堂
11月19日 (土)	天草看護学会	13:30～ 天草市民センター

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については『地域医療連携室：TEL0969-62-1547』までお問い合わせ下さい。

編集後記

○夜明けの時間が遅くなり、明け方の空には、星が見えるようになった。この頃になると日本各地から初霜や初雪の話題が届いてくる。被災地の住宅にも暖房器具が提供されたとのニュースもあり、震災からの季節の移ろいを感じる。来るべき冬の日を前に、気候の良いこの時期、心豊かに日々を過ごしたい。(福田)

○暦も11月に替わり、文化祭や学会などで休日はイベントが盛り沢山！それが終わると12月・・・忘年会ラッシュ～クリスマス～年末を迎え、よく考えると今年もあと2ヶ月を切っている。そろそろ年末に向けて今年の整理を行いたいところである。(森口)

11月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (代謝内科 消化器内科 呼吸器内科) 新患担当	樋口 坂本	和田 吉村裕 山城	坂本 吉村裕 大村 山城	樋口 和田 山城	坂本 山城 赤池 応援医師	
循環器内科	脇田 吉村拓	脇田 吉村拓	脇田	脇田 吉村拓	脇田	
※ペースメーカー外来は(3、6、9、12月)に行います。						
小児科	神菌	神菌	神菌	神菌	神菌	
外科・肛門外科 消化器外科	福田	城野	福田	城野	福田/城野	
整形外科	藤松	上原	藤松	重留(午後)	藤松	18日
※毎週木曜日は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
産婦人科	姫野 値賀	値賀 (姫野)	姫野 値賀	姫野 値賀	姫野 (値賀)	28日 (姫野医師不在)
※姫野・値賀、2人とも男性医師です。						
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	
眼科	竹下	竹下	—	竹下	竹下	11日
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹	—	
泌尿器科	—	小川 11/15・29	—	—	—	
胃腸センター	和田 城野 吉村裕	坂本 福田 赤池	城野 赤池	福田 赤池 応援医師	和田 外科担当医	
歯科・口腔外科	福田	福田	福田	福田	福田	7日午後 21日午後
※午後は、1時～4時30分まで受付けます。 また、火、木の夕方診療(午後5時～6時)も行います。						

教良木診療所 応援	大村	樋口	樋口	応援	吉村裕
御所浦診療所 応援	山城 (第2・4午前)	— —	竹下午前	—	—
御所浦北診療所 応援	—	—	—	赤池午後	—

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※眼科は、毎週水曜日は休診になります。

※木曜日の重留医師の整形外科外来(予約制)は、午後2時から午後5時まで診療を行います。

※歯科口腔外科は月～金の午後も診療を行います。又、火・木は午後6時まで診療を行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制です)

※内科は、火・木の午後5時～午後6時まで診療を行います。

※泌尿器科は11月15日・29日、12月13日・27日の午前中に診療を行います。